



## 自助・共助の精神を ～「木山防災デー」～

校長 寺田 武文

6月15日、土曜日。今年度も「木山防災デー」として、学校、地域合同での防災訓練を実施しました。新潟県沖を震源として大きな地震が発生したという想定です。始めに自宅から地域の方々と一緒に木山小体育館へ避難し、その後、日本赤十字社の方を指導者として、防災学習、防災シミュレーション、防災手当実習などを実施しました。

日本赤十字社の方からは、自然災害のメカニズムや災害発生時の初期対応などスライド資料をもとに丁寧にご指導いただきました。子どもたちは静かに話に聞き入っていました。

その後の防災学習や実習は、保護者の皆様にも参加していただきながらスマイル班（縦割り班）ごとに行いました。「避難するときに荷物に何を入れるか？」この課題についてグループで話し合いました。

「水」「食料」「お金」「スマホ」「衣服」「電池」「薬」・・・必要な理由を考えることで被災後に迫る危機について想像を巡らせました。その後、食品用ラップフィルムを使って、けがをした時の応急処置の仕方を実践しました。いずれの活動も高学年のリーダーシップのもと、みな興味をもって活動していました。防災訓練の最後には、保護者の方への引き渡し訓練も行いました。

東日本大震災から今年で13年目。近年、自然災害が頻発しています。とりわけ1月に発生した能登半島地震では、津波、土砂災害のほか、家屋の倒壊や火災、交通網の寸断など甚大な被害が発生しました。新潟市内でも液状化現象等による被害があり、未だ復興の途上にあります。石川県珠洲市で津波に襲われながらも住民全員が助かった地域では、津波を想定した避難訓練が毎年実施されており、地震当日も訓練どおりに高台の避難場所に避難できたということです。その際、支援が必要な人に声を掛け合うなど助け合って避難し、帰省中の人なども含め一人の被害も出さなかったそうです。

災害から命を守るには、一人ひとりの「自助」と互いに力を合わせ、助け合う「共助」が必要です。今回の活動が、いざというときに自ら判断し、命を守る行動をとる力につながることを願っています。大変暑い中の活動でしたが、ご協力いただいた保護者・地域の皆様にご心より感謝申し上げます。



### 木山小ブログ

日々、子どもたちの日常を情報発信しています。

URL : <https://blog.city-niigata.ed.jp/superkiyama/>

